

とおかまち市民活動助成金 助成実績

【2021年度】

No.	団体名	助成事業	事業日	助成額 (総事業費)	当日の様子 など
1	絞り藍遊夢 (※交付辞退)	<p>絞り藍遊夢 30周年記念展</p> <p>【目的】 発足30周年を記念して染色作品の展示や講演会を実施することで、藍染めの魅力を発信し会員の技術向上を図るとともに、市民に染色の団体があることを広く周知して会員の増加を図る。</p> <p>【実施概要】 会員の作品展示や、愛知県より有松鳴海絞り作家を招請して作品を評価していただくと共に講演会や、来場者が参加できる体験会を実施する。</p>	10月16日(土) ～ 10月17日(日)	50,000円	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため イベントを延期。交付辞退
2	明石書道会	<p>「小さな、ちいさな展覧会」 -マージナルアートの世界-</p> <p>【目的】 格式ばったものではなくより身近に感じられるような作品を展示することで、書道は決して難しいものではなく、誰でも自分の挑戦しやすい方法で入っていける世界であることを周知し、会員数の増加を狙いたい。</p> <p>【実施概要】 書付や色紙に好きな言葉を書いたものなどの作品を、活動拠点である段十ろうと、まちなかの施設である十じろうでそれぞれ時期をずらして展示する。 来場者の中から希望者には、無料でお名前のお手本(※楷書・行書・草書の3パターン)を作成する。</p>	7月27日(火)～8 月15日(日) ※十じろうは8 月4日～15日ま で	50,000円 (84,699円)	

3	伊乎乃の里・縄文サポート クラブ	<p>ベンガラ染め体験&縄文人に変身して写真を撮ろう！</p> <p>【目的】 コロナ禍において遠出しにくい現在、地元の方にこそ縄文文化という地域の魅力を再発見してもらいたい。 まちなかで実施することで、縄文文化や笹山に馴染みのない方にも興味を持ってもらい、笹山遺跡を訪れていただくきっかけ作りの場としたい。</p> <p>【実施概要】 縄文時代にも活用されていた、ベンガラという土から取れる成分（酸化鉄）の染料を使用して、白いハンカチで染物体験を行う。 同時に、「まちなか手芸部」協力のもと作成した縄文時代風の衣装や小物を身に着けての写真撮影スペースや、「森のおくりもの」協力による木のおもちゃで遊べるスペースなども併設し、まちなかで気軽に縄文文化を楽しむ機会を設ける。</p>	7月24日(土)	50,000円 (72,913円)	
4	石仏・語らいの家	<p>語らいの家ファイナル展「雪国に生きて」</p> <p>【目的】 消えゆく雪国の昔のくらしの様子を後世に伝える「語らいの家」の老朽化が進み、資料の保管や展示に支障が出てきたことで展示を終了することになったため、最後に集大成としての展示会を開催し沢山の方に資料や民具を見てもらいたい。</p> <p>【実施概要】 「語らいの家」にて展示会を行う。 手に取りやすく、長く楽しんでもらえるよう「語らいの家」に保管されている資料や民具と、同じように地域で活動されている市民活動団体を紹介するガイドブックを制作し配布する。</p>	11月3日(水)～ 11月7日(日)	50,000円 (100,000円)	

5	東部地区振興会 (※交付辞退)	アドベンチャースクールイン東部	2月19日(土)	50,000円	※新型コロナウイルス感染拡大防止のために雪まつりが中止となり、当該イベントも中止。交付辞退
		<p>【目的】 地元の小学生と共にその保護者に参加してもらうことで、今後も積極的に振興会行事や地域の各種イベントに参加してもらうきっかけづくりの場としたい。</p> <p>【実施概要】 十日町市の玄関口である「越後妻有交流館キナーレ」と「地場産業振興センタークロスステーション」を地元の人にもっと親しんでもらうために、雪まつり開催に合わせて両館内でスタンプラリーを実施する。</p> <p>参加者には振興会より越後妻有里山現代美術館 MonETの入館チケットをプレゼントし、スタンプラリーを楽しみながら美術館も見学してもらう。</p>			
	合計 3 団体 (※辞退 2)			150,000円	